

## 2026年度つくば市予算案が発表されました

### 下水道料金値上げ、市民生活をさらに苦しめる

2026年度つくば市の予算（一般会計予算）案は、歳入歳出1227億円で昨年と比較して46億円の減額となりました。市税は4千人の人口増を受けて市民税・固定資産税を中心に25億円の増、引き続き、つくば市史上最高の伸びになりました。市税が伸びているのに予算全体が減っているのは、人口増による学校建設が終了したことによって、国からの補助金や建設のための借金分の歳出減が影響しています。



山中まゆみ市議

本来、税収増は物価高で困っている市民に還元すべきものです。他市町村では物価対策として、水道料金の免除とか、プレミアム商品券など、自治体独自予算で対応している所もあります。つくば市もそういう独自の対策が求められているのではないのでしょうか。

ところが、逆に下水道料金を4月から値上げ予定（上水道料金は昨年4月に値上げしました）です。それも、市の予算から下水道特別会計に出していた補助金（繰り出し金）を4億6千万円も減額したためです。物価高のこの時期に市民生活をさらに苦しめるものです。

市道維持管理予算を5億円も減額していることも問題です。

### 体育館に空調設備実施・小規模特認校設置など

#### 山中市議の取り組みがみえる

山中市議が市議会の一般質問などで取りあげてきた体育館の空調設備について大きく動きました。学校体育館は2026年度と2027年度の2年で設置すること。総合体育館はリースで対応するとのこと。

児童数が少ない栗原小と谷田部南小は、個々の児童に柔軟に対応できる小規模特認校にすることになりました。



#### 3月定例議会のお知らせ

2月13日（金）～3月25日（水） ★山中まゆみ市議の一般質問～3月3日（火）  
たくさんの皆さんで傍聴しましょう！！

新しいつくば 2026年2月号外

発行・日本共産党つくば市委員会 ☎029-863-0045 ✉tsukuba\_jcp@nifty.com